

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- ▶ また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した区庁舎整備事業

- ・国産木材を活用して、西区役所庁舎の1階に設置している記載台やカウンター、ブラインドなどの環境整備を行うことで、利用者が木のぬくもりや優しさを感じられる空間を創出した。

【事業費】14,151千円（うち譲与税 14,151千円）

【実績】ローカウンター用椅子 6脚

記載台 7台（うち1台は車いす用）

ハイカウンター 6台 ローカウンター 3台

発券機台 1台

ブラインド 18台



□ 事業スキーム

- ・事後審査型制限付一般競争入札
- ・随意契約（比較見積）

□ 工夫・留意した点

- ・多くの来庁者が利用する記載台等の素材に国産木材を使用することで暖かな雰囲気を出した。
- ・相談ブースで使用する木製品については、落ち着いて相談できるよう素材や色等に配慮した製品を選定した。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%		④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より